

## 世界へ羽ばたく「英語人」育成のための教育を目指します。

英語に関する専門知識、高度な英語力、そして実践的な教育力を身に付け、英語教育に精通した小学校・中学校教員、そして、これからの義務教育における英語教育を創造し、牽引できる教員養成を目指します。そのために、小学校・中学校により焦点を当てた、深い専門的な内容を扱った授業と、教育力と語学力を高める授業を履修することができます。

### 4年間の学び

英語専修では、4年間を通じて、英語文学、英語学、そして英語教育の3領域すべてを学修します。加えて、各領域に共通する基礎として英語力を高める科目も履修します。英語文学領域では、英国米国だけでなく、英語で書かれた世界の文学について学びます。英語学領域では、英語の音声・文法・歴史についての科目を核として、学校教育に関連のある内容を学びます。英語教育領域では、第二言語習得の理論を支柱としてさまざまな指導法を学び、実践につなげる方法を学びます。また、小学校や中学校で実習を行い、4年間の集大成として、英語で卒業論文を書きます。

### 特色ある授業・ゼミ紹介

「オーラルコミュニケーションⅡ  
(Oral communication2)」  
ベネマ ジェームス准教授



オーラルコミュニケーションⅡは、現代が抱える問題について話し合うための学生のスピーキング能力を向上させることを目的としています。学生は、無料のメディアウェブサイト「TED Talks」からプレゼンテーションを選択し、各自のトピックについてディスカッションを進めます。また、学生はコミュニケーション問題が生じた際の交渉力も養うことができます。

### ■ 主な授業科目

- 初等英語科教育内容 ■ 英語文学演習 ■ 英語学講義 ■ 英文法 ■ 異文化理解 ■ ライティング
- 初等英語科教育法 ■ 英文学概説 ■ 英語学演習 ■ 英語史 ■ 異文化講義 ■ 中等英語科教育法
- 英語文学講義 ■ 米文学概説 ■ 音声学 ■ 英語学特殊講義 ■ オーラルコミュニケーション

#### 取得できる免許

##### 〔卒業要件に含める免許状〕

小学校教諭一種免許状  
中学校教諭二種免許状(英語)

##### 〔取得を優先して薦める免許状〕

中学校教諭一種免許状(英語)

##### 〔所定の科目履修で取得可能とする免許状〕

高等学校教諭一種免許状(英語)  
◎幼稚園教諭二種免許状  
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

### 先輩Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 英語専修4年  
愛知県立千種高等学校出身



コミュニケーションツールとして、  
英語を活用できるように。  
多彩な学びと経験を生かしていきたい。

### ■ 2021年1年次前期の時間割 (例)

|     | 月曜日       | 火曜日       | 水曜日                                      | 木曜日           | 金曜日        |
|-----|-----------|-----------|------------------------------------------|---------------|------------|
| 1時限 | 英語Ⅰ       |           | 初等理科教育内容A                                |               |            |
| 2時限 | 教育原論      | 日本国憲法     | 初等英語科教育内容B                               |               |            |
| 3時限 | 初年次演習     | 情報教育入門    | この時間を使って「学校体験活動入門」の事前指導やガイダンスを行うことがあります。 | オーラルコミュニケーション | 初等家庭科教育内容A |
| 4時限 | キャリアデザインⅠ | 発達と学習の心理学 |                                          | 英語学演習Ⅰ        | 初等生活科教育内容A |
| 5時限 | キャリアデザインⅠ |           |                                          |               |            |

英語の指導法から英語学、英米文学までを幅広く学び、さまざまな国籍の先生方から多くの知識や考え方を吸収できる環境です。私自身が特に力を入れているのが、英語でのコミュニケーション。オールイングリッシュの授業やプレゼンテーションなどの機会も豊富で、自分の考えをどう伝えればいいのか、試行錯誤しながらスキルの向上を図っています。将来は、大学での学びを生かし、多様なアクティビティを取り入れた実践的な授業や、異文化に触れられる機会を設け、世界に目を向けられる人材を育てていきたいです。